

【平成23年5月24日受信】

三木健司先輩へ

岩手 ちだ&さよ です。

今朝の地元の新聞『岩手日報』より。(5/24 1960年のチリ地震津波から51年)
岩手県内の被害者は、死者4,469名、行方不明者2,937名。(23日現在、
県災害対策本部まとめ)

今朝の岩手日報に『5家族 心の復興』という記事が掲載されてありました。記事に
掲載されているお父さん(39歳)は、高田小学校のPTAでした。今回の被災で、ご
両親と奥様、そして一人娘(高田小1年)の計4人をなくされました。

3月下旬、このお父さんは、盛岡の県民会館に、県の書写書道コンクールに足をはこ
ばれたそうです。高田小1年の一人娘の作品が県で特選作品として展示されていまし
た。作品は通常、返されないことになっていますが、このお父さんは主催者に事情を
話して、作品を返却してもらってそうです。合唱でも子どもらしく、大きな口をあけ
てのびのびと歌っていたことが思い出されます。

このお父さんは、3月11日に被災後、高田小の第2校舎の音楽室に、地元の消防団とし
て毎日寝泊りをしておられました。愛する家族をさがせないまま、地元の消防団とし
て他の行方不明の方を探しにいかねばならなかった方の一人です。陸前高田に
は、こんな方が数多くいます。

陸前高田市の被災状況(5/24 岩手日報) 『市によると震災時の総人口24,246人の
うち、死者は1,101人、行方不明者682人(5/23現在 陸前高田市の人口約7%強)。
津波が防潮堤を越え、市役所があった中心市街地などが壊滅的な被害を受けた。全8,
068世帯のうち半数近くに当たる3,848世帯が被災。(同約48%)気仙川河口から直線
距離で最大5キロ地点まで水が達した。現在の避難者数は1,729人』となっています。

写真1枚目 高田小体育館。津波はいつも簡単に校庭を2メートルかけあがり、体育館
通路に車を何台もおいていきました。3/13撮影。

写真2枚目 大船渡。親父の自動車工場付近。「これより先 津波浸水想定区域」の
看板が根こそぎたおれています。3/14撮影。

写真3枚目 ちだの車のナビの写真。○に×のマークは車両進入禁止の印。被災後か
らナビにうつっています。毎朝、自宅から高田小に通勤していくと、こんなマークが
10近くあらわれてきます。なお「海と会のミュージアム(貝の博物館)」は現在あり
ません。



